

IoT時代の要求分析・デザイン手法～モノづくりからコトづくりへの転換～ (4118345)

モノとITを融合・統合していくIoT(Internet of

Things)を活用した新サービスの開発の場合、全体システムをデザインすることのできるIT人材の存在が欠かせません。ITを使ってビジネスを企画・変革していくプロセスは、ビジネスアナリシスにより定義されています。本コースは、ビジネスアナリシス・フレームワークをベースに、IoT時代に必要な創造的アプローチの手法と概念を軸にカスタマイズされた内容となっています。また講義だけでなく、演習を中心としたカリキュラムを通じ、実践力を身につけていきます。

開催日時	2019年1月28日(月) 10:00-17:00 2019年1月29日(火) 10:00-17:00
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 IS導入(構築)・IS保守 専門スキル
講師	塩田宏治 氏 (株式会社クリエビジョン 代表取締役 一般社団法人IIBA日本支部 研究担当理事) NTTデータを経て、ソニーグループにおいて多くのグローバル大規模業務改革プロジェクトを推進し、現在に至る。 ユーザ企業における業務部門および情報システム部門、ITベンダ、海外拠点におけるマネジメント等の幅広い経験をし、様々な視点からの豊富な知見を持つ。 アジャイルおよびウォーターフォールでのプログラムやプロジェクト現場の豊富なマネジメント経験に加え、グローバルなPMOやITガバナンス・投資管理、ビジネスアナリシスやビジネスプロセスマネジメント、エンタープライズアーキテクチャなどの組織的役割のマネジメントもリード。PMP(Project Management Professional)はもちろんのこと、PgMP(Program Management Professional)、CBAP(Certified Business Analysis Professional)、BRMP(Business Relationship Management Professional)、CITA(Certified IT Architect)やTOGAF、CSM(Certified Scrum Master)など、日本ではまだ希少な資格も含め多く保有し、幅広い専門性を有する。
参加費	J U A S 会 員 / I T C : 66,000円 一般: 84,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数2枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (ユニゾ堀留町二丁目ビル2階)
対象	システム企画、要求分析を担当される方 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9397
ITCA認定時間	12

主な内容

<受講者の声>

- ・デザイン手法の基礎体系を1から学ぶことができ、また演習を通して、理解を深めることができた。
- ・大変わかりやすく、演習でのフォローもよかった。IT部門やSIerの受講者が多かったが、メーカーのエンジニアにもおすすめ。
- ・体系的に要求に落とし込む手法を学ぶことができとてもよかった。
- ・ビジネスアナリシスの良いきっかけとなる。
- ・BABOKをどう適用すればよいのか道筋が見えた。
- ・講義と演習のバランスが良い。

環境の急激な進化により、IT組織及びIT人材はそれに対応するための能力の拡張がより一層求められています。

例えば、モノとITを融合・統合していくIoT(Internet of

Things)を活用した新サービスの開発の場合、従来のコンピュータシステムの知識・スキルだけではなく、モノやユーザーが保有するスマートフォンなどが連動した全体システムをデザインすることのできるIT人材の存在が欠かせません。

ITを使ってビジネスを企画・変革していくプロセスは、ビジネスアナリシスにより定義されています。

このビジネスアナリシスにおける企画プロセスの本質を理解し、さらにIoTプロジェクトに適したテクニックを体感していくことが、時代のニーズに合致するIT人材を目指す方々にとっての最良の対応策と言えます。

本コースでは、変革活動の一側面しか扱っていないはやりすたれの多い手法に依拠するのではなく、変革を企画するプロセスの業界標準であるBABOK (Business Analysis Body Of

Knowledge) の堅牢なビジネスアナリシス・フレームワークをベースに、IoT時代に必要な創造的アプローチの手法と概念を軸にカスタマイズされた内容となっています。また講義だけでなく、演習を中心としたカリキュラムを通じ、実践力を身につけていきます。

※本コースの取り扱うケーススタディは、コンシューマー向けITソリューションの要求分析、全体デザインを取り扱っております。AI、ビッグデータ解析など特定の技術領域のシステムの設計や開発手法を解説することは、本コースには含まれておりません。また、IoTデバイスそのものの設計や開発手法も取扱いしておりませんのでご注意ください。

【講義内容】

<1日目>ビジネス・ニーズの定義 ～最適手法で真の要求を引き出せ～

ビジネス価値創出の観点から、ユーザーの要求を引き出すスキルを学ぶ

(午前)

- ・ 要求とは
- ・ 要求開発を実践するビジネスアナリシスとは
- ・ ビジネスアナリシスのプロセス
- ・ 戦略アナリシス（創造的アプローチ）
- ・ 引き出しとコラボレーション

(午後)

<演習> ビジネスケーススタディ (A社)

「要求開発プロセスをいかしたプロジェクトの企画（課題の特定とロードマップ）」

顧客の真の課題とプロセスを描き出し、課題を解決するロードマップを提案するスキルを演習します。

<2日目> ソリューションアプローチ ～ニーズに応えるソリューションを提案し、企画を通す～

要求をソリューション提案に落とし込んでいくスキルを学ぶ

(午前)

様々なソリューションコンポーネントのグランドデザインを描く

- ・ 要求アナリシスとデザイン
- ・ ソリューション評価

(午後)

<演習> ビジネスケーススタディ (A社)

「要求開発プロセスをいかしたプロジェクトの企画（要求とソリューションのデザイン）」

顧客の課題を解決するロードマップを実現するために、様々なソリューションコンポーネントが連携して一つのサービスを実現するグランドデザインを描き、ソリューションコンポーネントと顧客の要求を統合していくスキルを演習します。

※講義内容は予告なしに変更する場合がございます。ご了承ください。